

平成25年度
久寺家中学校学校評価



＜久寺家学習 華道＞



＜バードカービング＞



＜銚子駅伝＞



＜職場体験＞

我孫子市立久寺家中学校

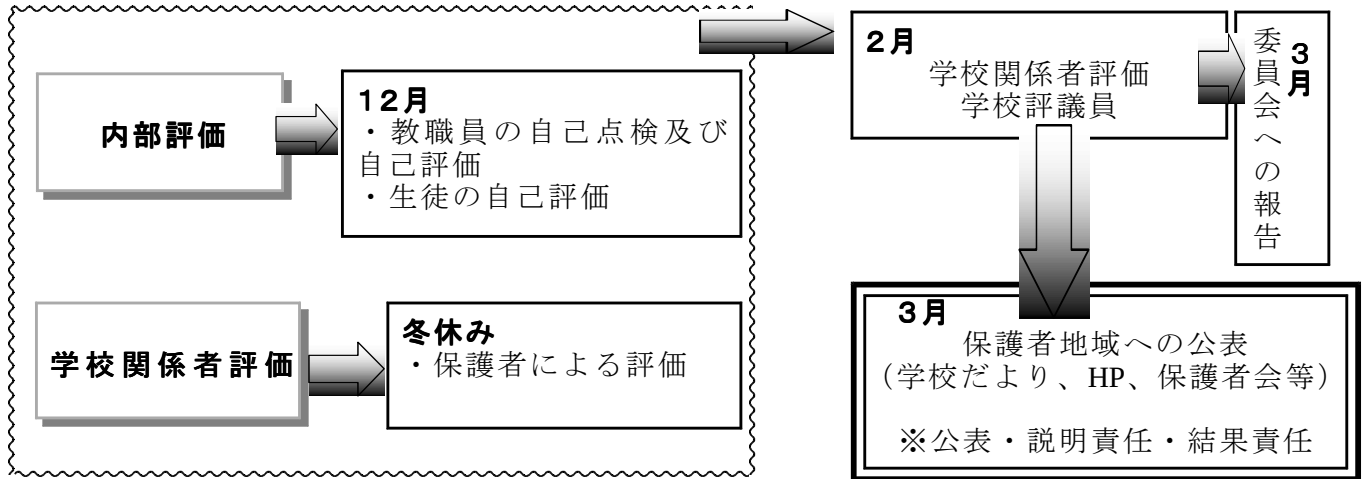
目 次

- 1、久寺家中学校の目標管理計画・・・・・・・・・・・・・・・・・・ P1
- 2、学校評価総括表の作成について・・・・・・・・・・・・・・・・ P1
- 3、学校評価のための教職員アンケート結果・・・・・・・・・・ P2
 - ・教育経営 P 2 / 学習指導 P 3 / 生徒指導・危機管理 P 3
- 4、学校評価のための生徒アンケート結果・・・・・・・・・・ P3
 - ・学校全体について P 3 / 学習面について P 4 / 生活面について P 5 /
いじめ、教育相談について P 6 / 危機管理、その他について P 7
- 5、学校評価のための保護者アンケート結果・・・・・・・・・・ P9
 - ・学習面 P 8 / 生活面 P 9 / 環境・安全・危機管理 P 10 /
学校運営、地域連携、その他 P 10

平成25年度 久寺家中学校学校評価

各学校は、国の学校評価ガイドラインや学校教育法、同施行規則に基づいて、学校評価を行うことが義務づけられています。本年度は評価内容をより分かりやすくし次年度に活かす為の学校評価改善に取り組み、3年目となりました。前年度との比較ができるようになり、今回のアンケート結果をもとに職員会議等で職員が結果を分析すると共に、学校評議員の方々にも評価していただきました。この度その結果がまとまりましたのでお知らせいたします。

1、学校評価の全体像



平成25年度 学校評価総括表の作成について

1、学校経営の概要と評価体系の概要

平成25年4月に提出された学校経営計画書を経営指針に従って組立て直した。

①総括表の集計総括評価は、各観点ごとを集計して4段階評価(4, 3, 2, 1)で記入。

②水準について

【集計総括評価の基準】 観点ごとの内容

- 4 目的別に十分達成されている。(実績が上がっている)
- 3 目的別におおむね達成されている。(おおむね実績が上がっている)
- 2 目的別にある程度達成されている。(ある程度は実績が上がっている)
- 1 目的別に達成が不十分である。(実績がほとんど上がっていない)

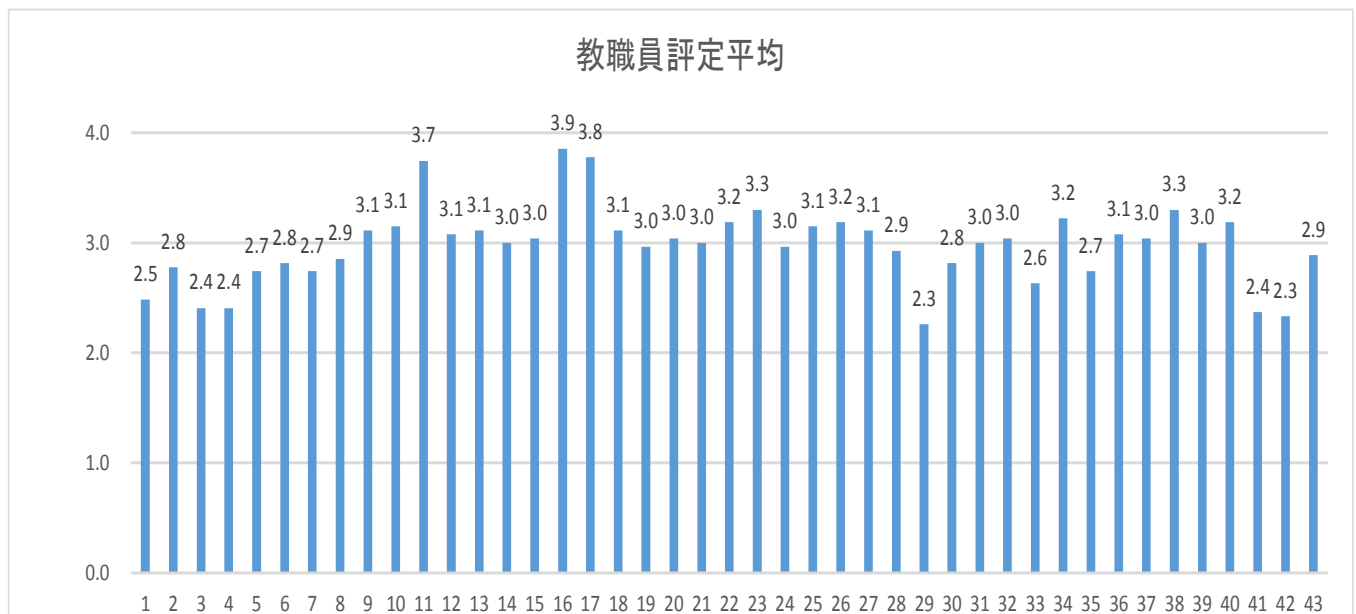
※職員評価は、職種のちがいがから答えられない項目もあるので「わからない」の選択肢がある。

2、学校評価のための教職員アンケート結果

4点：よく出来ている 3点：大体できている 2点：あまり出来ていない 1点：出来ていない 0：わからない

男14人 女13人 合計27人

※縦軸(評価点数平均)・横軸(評価項目)



教職員アンケート各項目 目標値80%以上

☆評価90%超、★評価70%以下、△前年比よりアップ、▼同項目前年比より低下、◎今年度重点項目

1	教育経営：21世紀を生きるたくましい力と豊かな心を持った生徒を育てる。★	23	学習指導：授業の始めには「本時の課題（目標）」を明示しているか。
2	教育経営：生きてはたらく学力を身につけた生徒を育てる。	24	学習指導：各教科等の指導では「個に応じた指導」を積極的に行い、工夫・改善をしているか。△
3	教育経営：逞しい体力と忍耐力を身につけた生徒を育てる。★	25	学習指導：学習指導要領を基に、各単元の目標・内容・指導時数等の見直しを計り年間指導計画を作成しているか。△
4	教育経営：勤労を尊び、自ら奉仕し実践していく生徒を育てる。★	26	学習指導：学習指導要領に基づき、観点別学習状況の評価基準を作成し、活用しているか。△
5	教育経営：◎互いに磨き合い、成長する生徒を育てる。★△	27	学習指導：指導内容の重点化と精選を進め、課題解決的な学習を基本として、工夫や改善に心がけた授業を進めているか。
6	教育経営：◎情操豊かで品位のある生徒を育てる。▼	28	学習指導：指導内容や指導方法について自己評価をし、適宜教科部会等で検討し、次年度に生かそうとしているか。△
7	教育経営：学校生活全体を通じて「ありがとう」や感謝の気持ちを伝えられる生徒が育てる。★△	29	学習指導：道徳の時間の指導は、ねらいと資料及び展開大要を明示した年間指導計画のもとで毎週行っているか。★△
8	教育経営：学年・学級・分掌の環境物は、意図的に作成したか。	30	学習指導：学級活動等において、計画的にキャリア教育が進められているか。▼
9	教育経営：学年目標達成のために組織が機能し、職務を果たせたか。△	31	学習指導：2、3生徒は久寺家学習を通して心の修養が図られているか。▼
10	教育経営：生徒の活動を分担し、遂行させ、評価してあげることができたか。△	32	学習指導：1年生は我孫子郷土学習や環境学習を通じて、郷土を愛する心が養われているか。
11	教育経営：個人情報在校内規定に従って適切に管理しているか。職員室以外から持ち出していないか。☆	33	学習指導：ICTの積極的な活用（教師、生徒）を意識し、よりレベルの高い内容の授業ができていくか。★
12	教育経営：各分掌活動の資料・記録を適切にまとめ、評価を計画的に行い、改善充実を図っているか。	34	生徒指導・危機管理：生徒の教育相談を、長欠担当・養護教諭、カウンセラー等と連携して組織的に進めているか。△
13	教育経営：研究主題「自ら課題意識を持ち、生き生きと学習する生徒の育成」を目指し、特に今年度は～思考し、表現する力を伸ばす授業づくりの工夫～を心がけることができたか。	35	生徒指導・危機管理：生徒に挨拶、時間のけじめなど基本的な生活習慣が身についているか。★
14	教育経営：目標申告に基づき自己啓発的に研究・研修に取り組めたか。	36	生徒指導・危機管理：生徒自らが活動できるように生徒会活動・委員会活動・部活動経営の仕方を工夫しているか。△
15	教育経営：生徒の人間性や人権に配慮した言語環境を作りだせたか。△	37	生徒指導・危機管理：事故・災害等に備え、学校安全の指導を「自助、共助、公助」の観点で指導しているか。△
16	教育経営：教育公務員として、コンプライアンスの意識を高く持ち、社会に信頼されるような服務処理をし、セクハラ、体罰、飲酒運転などの不祥事を絶対に起こさない気持ちと行動をとっているか。☆△	38	生徒指導・危機管理：自分の管理点検場所の施設・設備の点検を忘れずに行い、その結果に基づいて安全の充実を図っているか。
17	教育経営：学校・学年・学級、部活動の会計を正確・適正に処理し、関係書類を適切に保管しているか。☆	39	生徒指導・危機管理：学校防犯・交通安全について指導・見回りを適宜に行い、ボランティアやPTAや各種関係機関との連携・協力を進めているか。▼
18	教育経営：保護者や地域に学習や活動のねらいを理解してもらうため、十分な情報を提供しているか。△	40	生徒指導・危機管理：学校生活の向上・充実を図り、当面する生徒指導上諸課題の情報交換が十分になされ、チームで指導に当たっているか。
19	教育経営：特別支援を必要とする生徒の指導方針を、職員全体で共通理解をしているか。▼	41	生徒指導・危機管理：生徒は清掃活動にしっかり取り組んでいるか。★△
20	教育経営：特別支援コーディネーターに情報を報告し、校内委員会やケース会議を充実させているか。△	42	生徒指導・危機管理：生徒は社会のルールを守り、交通安全にも十分留意し登下校できているか。★▼
21	教育経営：体力テストの結果を生かし、生徒の体力の向上及び健康の保持、増進に関する指導を進めているか。△	43	生徒指導・危機管理：防災マニュアル等の内容について全職員が理解をし、訓練等に役立っているか。
22	学習指導：各教科等の指導では、生徒の興味・関心を深めるよう自主的・自発的な学習を促しているか。		

(1) 教育経営

《考察》…(1)教育経営について 1～21

学校教育目標は1の「21世紀を生きるたくましい力と豊かな心を持った生徒を育てる」である。その具体目標として2～6までの5つを掲げて学校の経営を行っている。6の重点目標「情操豊かで品位のある生徒育てる」については、前年比を下回ったものの8割程度「良い」という評価である。一方、5の「互いに磨き合い、成長する生徒」については、本校は生徒間の結びつきが弱いと感じている教職員が多いと思われる。生徒の人間関係づくりにはここ数年積極的に取り組んできている。個人面談、各アンケート調査、Q-U検査やピアサポートなど。また相談室との連携も積極的に行われるようになった。今後は、学校行事や学年・学級経営の中で、個を大切に指導と共に、互いを認め合えるような場面づくりも増やしていきたい。また、16、17として教育公務員としての意識は全体として高く、コンプライアンスを根底に適性経理や個人情報の守秘など、本校職員から不祥事を起こさない意識は高い。

《考察》・・・(2) 学習指導について 22～33

本校生徒の優れた点として、学習に取り組む姿勢の良さがあげられる。それは授業中の態度にも表れ、授業が成立しない学級や学年は皆無である。だからこそ教える側である教師集団が、より深く考察したり、追求したりする授業を追求できる。本校の学習指導を向上させていく為に、13では今年度の研修テーマの副題を「思考し、表現する力を伸ばす授業づくりの工夫」とした。学習を進めていくうえで、一連の学習プロセスを各教科で定着させられるように、今年度より研究を進めている。これまでも行ってきた27の「課題解決学習」を基本とし、26の「観点別評価」と28の「自己評価」を次の学習意欲につなげる指導の定着への評価は高い。33の「ICTの活用に関する」評価は機器はそろっているものの、教科間や個人間の差が大きいことが、結果より読み取れる。また29「道徳」では実際に授業の様子を見てみると、職員の意識は決して低くないが、「道徳の教科化」の流れなどから、よりしっかりした取り組みが必要と考える教職員が多いと思われる。

《考察》・・・(3) 生徒指導・危機管理について 34～43

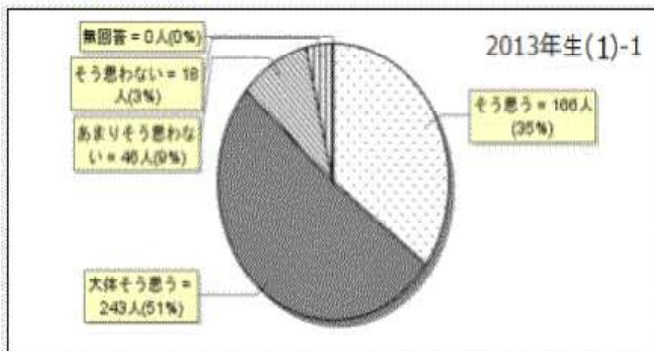
36の「生徒自らの手による活動」や37の「防災・安全に対する意識」は向上してきていると感じている教職員は多い。半面、41の清掃活動や42の登下校といった、基本的なマナーが身に付いていないと感じる教職員が多い。本校生徒は生活面での問題行動を起こす生徒は少ない。しかし社会の一員として身につけるべきマナー等の部分については、未成熟な生徒が多い。積極的に地域の行事に参加したり、地域人材の活用や小中交流などを通じて地域に学んだりして、地域に生きているといった帰属感を養わせ、自立していくために必要な経験を増やさせていきたい。31の久寺家学習については、本校情操教育の中心的な学習であると感じている職員も多く、今後も大切にして継続していく意識は高い。

2、学校評価のための生徒アンケート結果

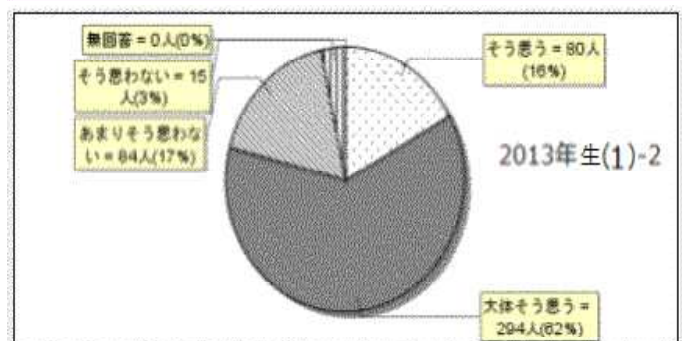
4：そう思う 3：大体そう思う 2：あまりそう思わない 1：そう思わない

(1) 学校全体について 合計473名

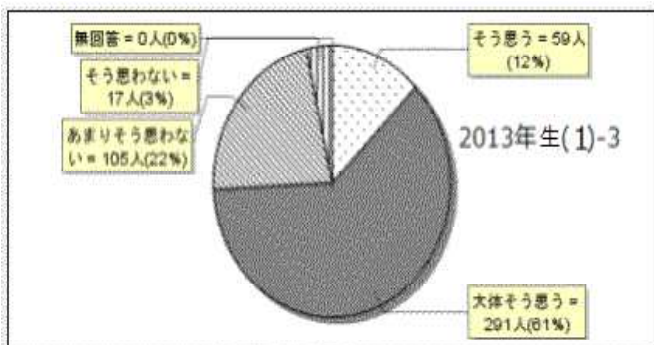
1. 久寺家中は好きですか。



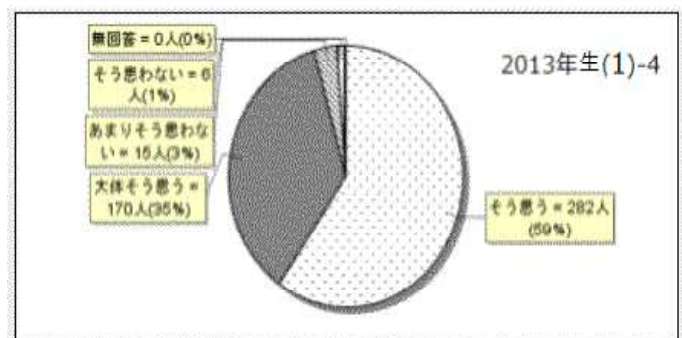
2. 校訓「自学・礼節・鍛錬」の意味を理解していますか。



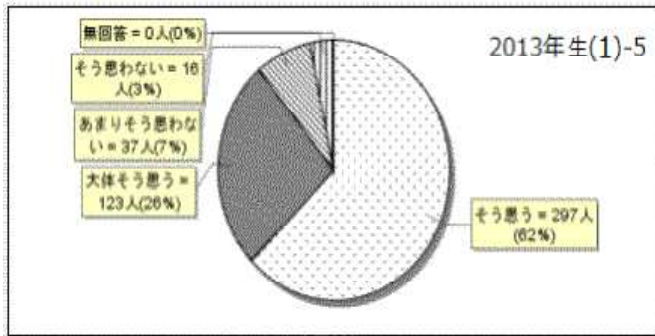
3. 今年度の学校の重点目標「情操豊かで品位のある生徒」「互いに磨き合い、成長する生徒」に少しでも近づけましたか。



4. 仲間を大切にしていますか。



5. 今、興味を持っているものや、挑戦したいことがある。



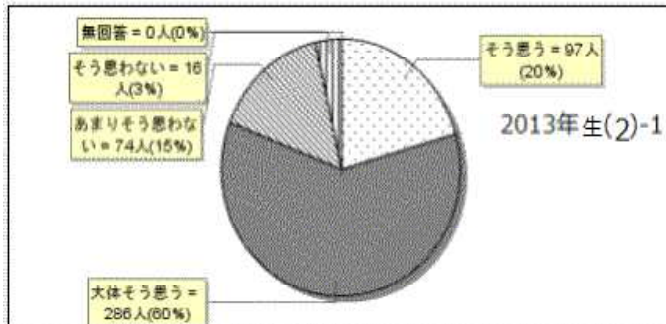
ていきたい。5については殆どの生徒が肯定的な回答をしているが、学習指導、部活動はもとよりキャリア教育や進路指導などについても、生き方や人生の歩き方について考えさせたい。

《考察》・・・(1)学校全体について 1～5

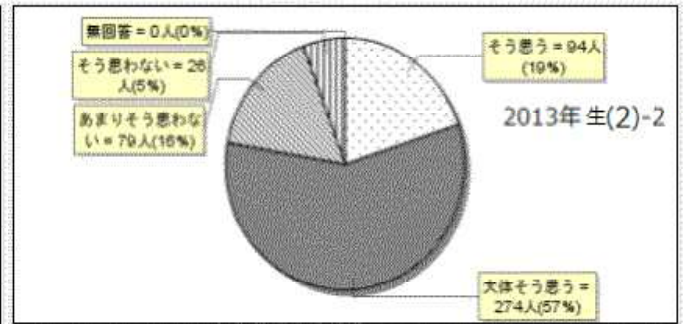
1の「学校に対する愛着」は全体としては、横ばいではあるが、学年が上がるにつれて数値が増す傾向にある。2、3の「校訓」についての質問や教育目標については7割～8割の生徒が理解しているとの回答をしているが、校訓についてはなかなか話題にする機会が少ないのが現状である。学級や学年での教職員による指導も必要だが、生徒の組織である生徒会でも1の質問とあわせて「愛校心」「校訓」を高める工夫が必要である。品位については久寺家学習を実施していない、1年生が少し低い。4については、昨年とほぼ同様そう思わない、思わない生徒21名については、いじめや仲間はずれ等も視野に入れながら、個人面談、アンケート、教職員間、相談室との連携などで対応し

(2) 学習面について

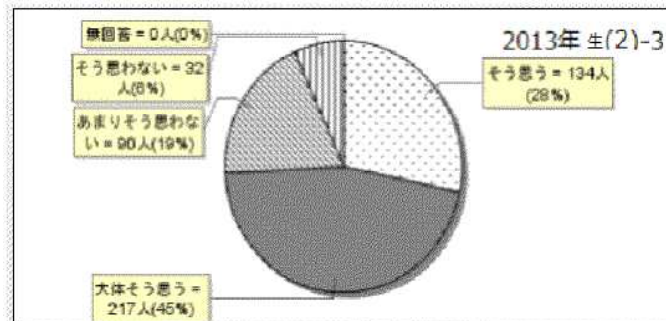
1. 授業でしっかり話を聴き、自分なりの考えを持って授業に取り組んでいますか。



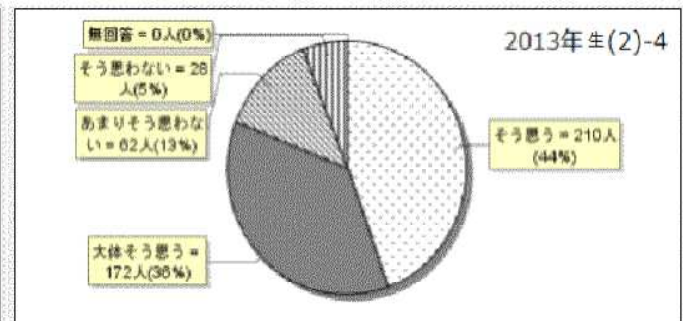
2. 先生は工夫して授業を行い、「わかる授業」に心がけていますか。



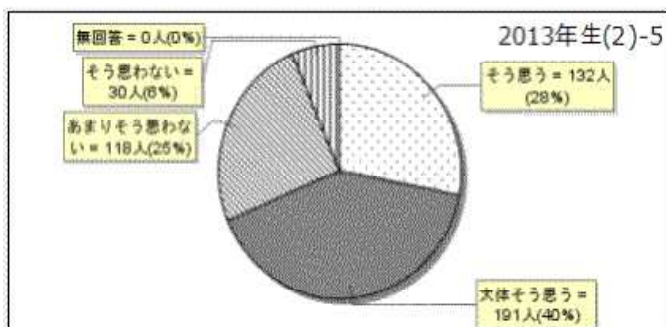
3. 通知票の評定や自己評価表は学習意欲の向上につながりますか。



4. 家庭学習はしていますか。



5. この1年間で、自分の学力は向上してきていると思いますか。



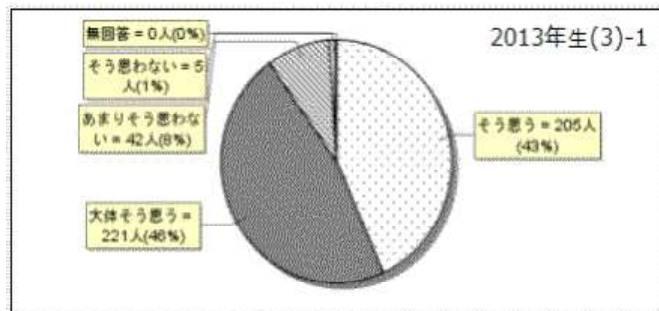
《考察》・・・(2)学習面について 1～5

1の「授業態度」については、8割の生徒が真面目に取り組んでいると回答し、特に今年は「そう思う」の生徒数が増加した。2の「先生のわかる授業」に対する肯定的な評価は、昨年度を下回った。授業や定期テストの平均点で、各学年とも極端に落ち込んでいる学級はない。したがって、わかる楽しさや生徒が主体的に取り組める授業をもっと工夫し、生徒の期待に応えられるものにしたい。具体的には、授業の最初に明示する「学習課題」や「授業中の生徒の活動保証（学習プロセス）」を全教科で徹底させ、久寺家中生徒の

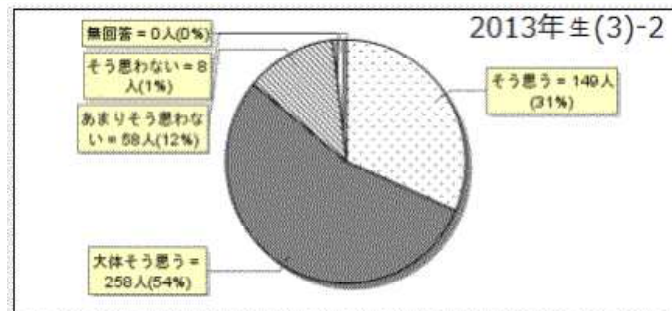
ニーズに合った内容で学習意欲を向上させていく。また、評価基準・規準を生徒へ明示し、自己評価させることも学習意欲の向上につながる。3の「通知票の評価や自己評価」についても数値が下がっており、久寺家中評価の大きな狙いであった、「自分を見つめ直す良い機会（自己評価）」の面が薄れてきていないか、今、一度指導と評価の一体化を見直す必要がある。4の「家庭学習」については数値が向上している。テストだけではなく、家庭での予習、復習、宿題（提出物）などの大切さが定着してきたと思われる。5「学力向上」は肯定的な回答が増えた。

(3) 生活面について

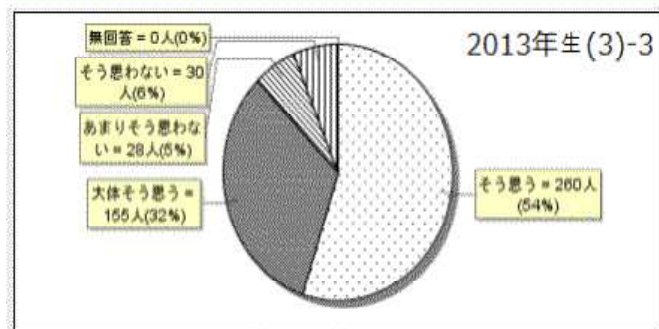
1. 自ら進んで挨拶や返事をしていますか。



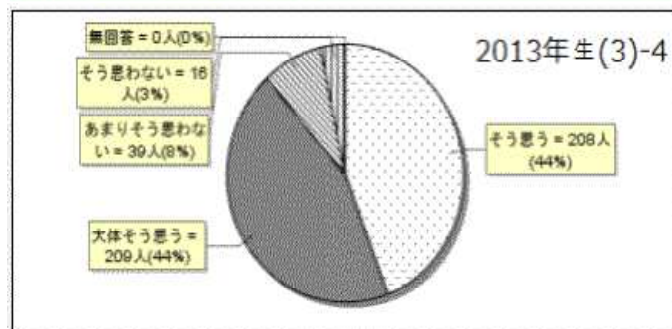
2. 清掃にしっかり取り組んでいますか。



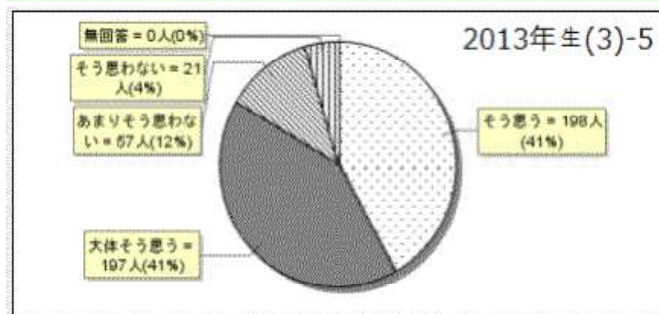
3. 部活動にしっかり取り組めましたか。



4. 学年・学校行事に積極的に取り組めましたか。



5. 学校からのお知らせは家の人に、確実に手渡していますか。



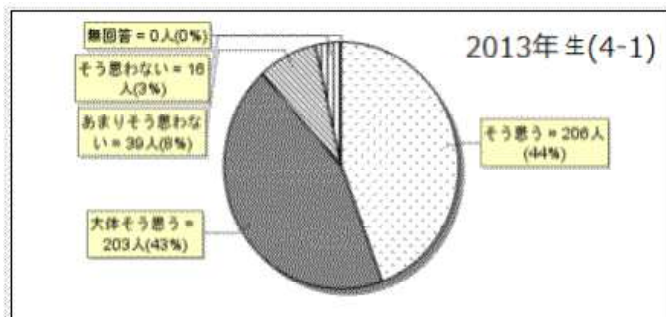
《考察》・・・(3)生活面について 1～5

1の「挨拶」については、9割近くの生徒が「良い」としているが、自分の方から先に挨拶できる生徒はそう思うの200人程度かもしれない。挨拶と返事は社会の基本であるから、ぜひ身につけさせたい。2の「清掃」については昨年と同じ、指導側にも改善の必要性がある。3,4の「部活動・学校行事」では、積極的に取り組む生徒が多く、結果も残している。気になるのは行事への取り組みで、一学級強分の生徒が「そう思わない」と回答しており、行事への参加の仕方や指導が問われる。5の「学校からのお知らせは」への意識は昨

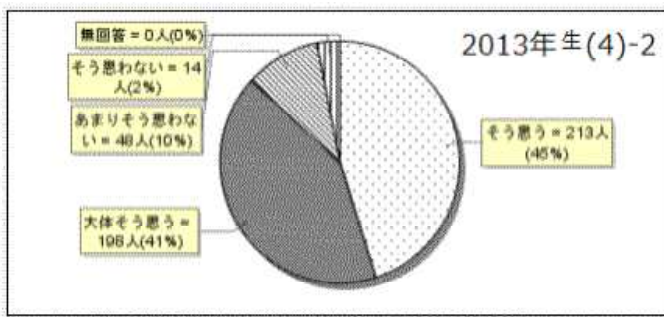
年度より向上しているように思える。「じんじん」やホームページはあくまでも連絡の補助であり、「お知らせ」プリントは100%家庭に届けさせたいので、各家庭での協力もお願いしたい。(例：本人がいなくてもかばんは開けても良いという約束事や、プリント用ファイルはあってもなくても毎日一回は親にわかる所に出おくなど)

(4) いじめ、教育相談について

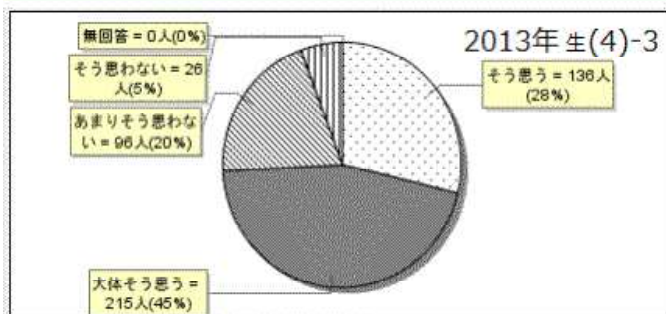
1. 学級、部活動での人間関係はうまく行っていますか。



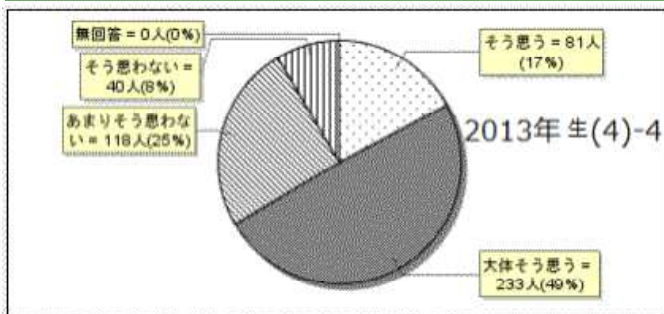
2. 先生はいじめのない明るい学級づくりに努めていますか。



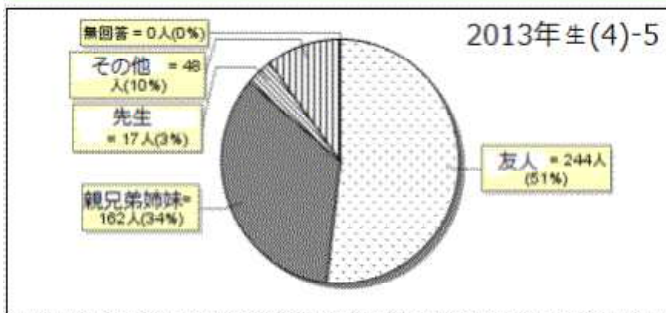
3. 先生は、あなたのことをわかってきていると思いますか。



4. 学校では、困ったことや悩みを、先生・心の相談員・スクールカウンセラーなどに相談しやすい体制はできていると思いますか。



5. 悩んだ時は誰に一番相談しますか。(「友人」と思う人は「そう思う」の欄に、「親、兄弟姉妹」と思う人は「大体そう思う」の欄に、「先生」は「あまりそう思わない」の欄に、「その他」は「そう思わない」の欄にマークして下さい)※一番多い所を1つだけ選択のこと

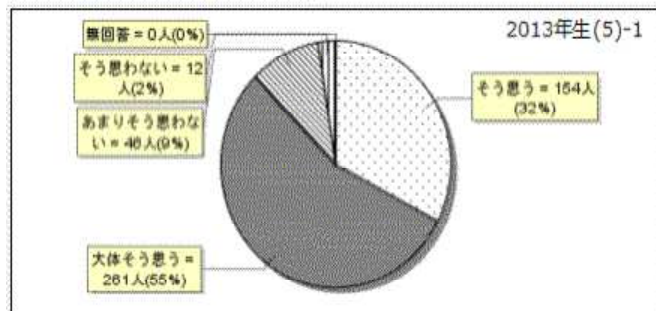


《考察》・・・(4) いじめ、教育相談について 1～5

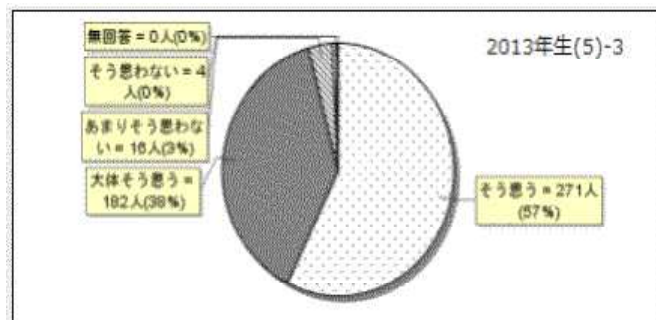
1の「人間関係」については学年が上がるにつれて落ち着いてくるが、全体の1割に「そう思わない」生徒もいる。担任や副担任、部活動顧問など複数の目で、生徒を見取る必要がある。2の「いじめ」ではいじめ調査を実施して、そこに出たものについては一件、一件丁寧に対応して、現在進行しているものはない。それ以外の目に見えないいじめや偏見、差別は常にあるものと認識し、早期発見、早期対応に努めたい。その1つとして、1階相談室前のポストは「いじめ、体罰、セクハラ等」に対する常設のポストである。4の「相談体制」に関しては、若干肯定的な回答が上がったものの、コーディネーター会議を中心に改善を図っていききたい。5に関して、最近の若者の思春期や反抗期は「浅く、長く」の説がある。この時期に越えておかねばならない壁や同世代との切磋琢磨などを、親がうまく後押ししてあげることが出来ると良い。

(5) 危機管理、その他について

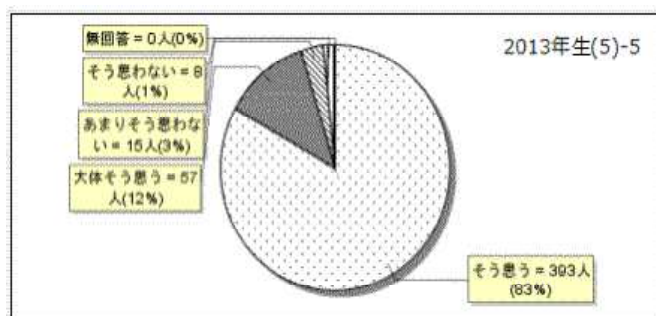
1. もし、学校で災害にあった時、自分の身の安全を確保できると思いますか。



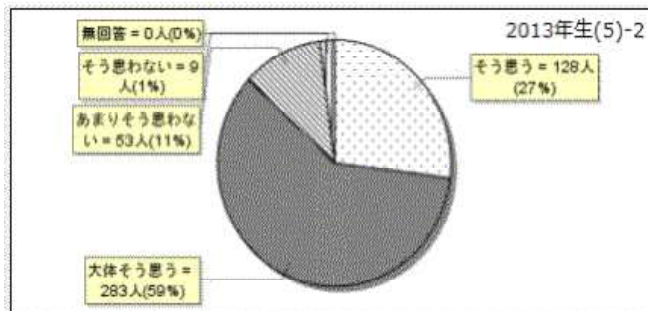
3. 携帯電話、スマホ、パソコン、通信ゲーム機などを正しく使い、自他の個人情報を守ることができますか。



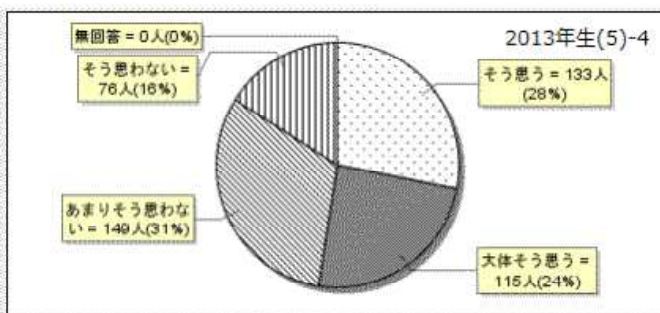
5. 朝食を食べて学校に来ていますか。



2. 災害、不審者への対応、交通安全などに「自助・共助・公助」の気持ちを持って対応できていますか。



4. 読書はしているほうだと思いますか。



《考察》・・・(5) 危機管理、その他について 1～5

1の「災害」については震災の経験から防災に対する意識は高い。引き渡し訓練もスムーズに行えるようになった。「学校を含む地域が震度5（弱）以上の地震で、生徒を学校に留め置き、保護者引き渡しを行う」ことになる。2の「自助・共助」の意識を向上させる為には、避難訓練等の工夫をもっと行っていきたい。3の「情報」については、ネット書き込みや「学校ランキング」の事件に、学校全体が巻き込まれる形になり、警察署の方を招いた集会などを行ったことにより、その意識は高い。4の「読書」については足りないと感じてる生徒が昨年同様多い。読書の時間も取れないだろうが、「質」についても指導していく必要がある。

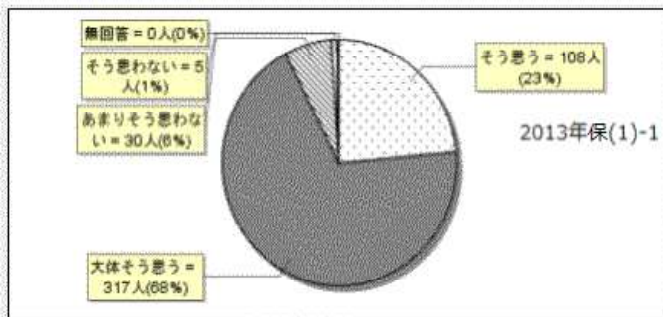
3、学校評価のための保護者アンケート結果

4：そう思う 3：大体そう思う 2：あまりそう思わない 1：そう思わない

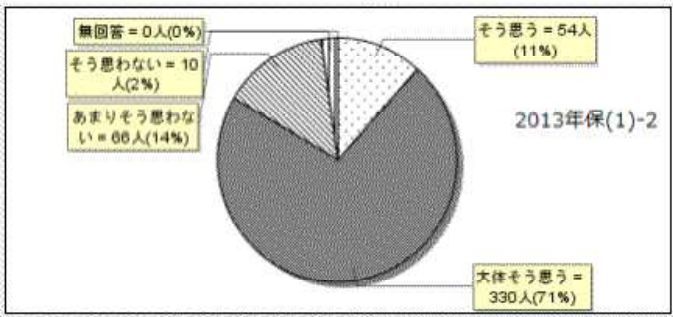
460家庭

(1) 学習面

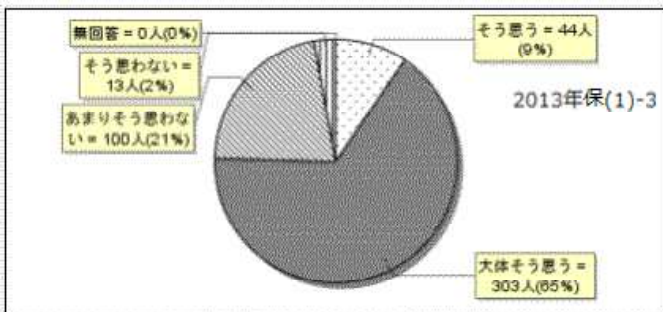
1. 学習中の態度(聞く、聴く、話す、読む、発表する、参加する)は中学生らしく適切でしたか。



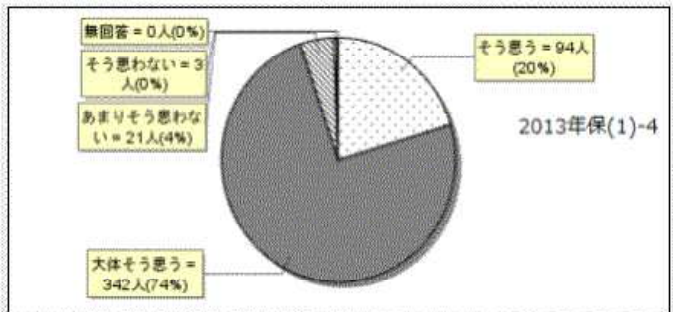
2. 先生は、生徒にとってわかりやすい授業をする、工夫や努力をされていましたか。



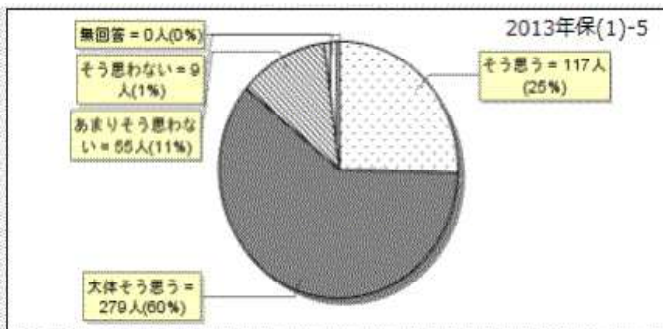
3. 先生は授業をするうえで、子どもたちの理解度を把握しながら、授業や学習活動を進めていましたか。



4. 教室環境は学習の場としてふさわしいものでしたか。(設備、備品、情報発信、作品展示、学習資料など)



5. 学校は生徒の学習達成度について、保護者会や個人面談、通知票を通して分かりやすく示していましたか。

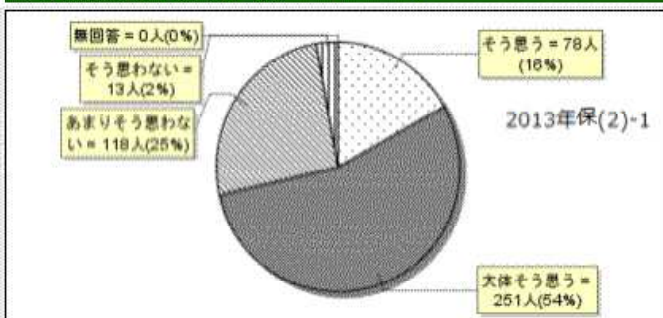


《考察》・・・(1)学習面について

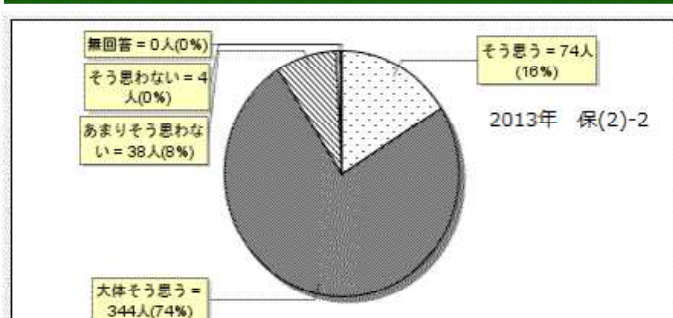
1の「授業中の態度」については、落ち着いて授業に取り組んでいると考える家庭が多い。2の「わかりやすい授業」についても80%以上が「そう思う」の回答を出している。なかなか学校に来る機会がなく評価をしにくいと思う。各行事など見ることのできる姿でも十分に久寺家中生徒の様子がわかる。一方、3の「理解度」については、子どもの様子から判断するしかない。ただ評価は「絶対評価」を基本とし、到達度で測る。発表やノート、課題などの点検で、理解度や定着状態を把握する。学期ごとの試験(観点が載っている)や通知表を「良かった、悪かった」だけでなく、どうしてそのような評価になったのかを、親子で考え次の学習の目標に繋げたい。4はおおむね良好。5についてはなるべくわかりやすくし、説明責任を果たしたい。

(2) 生活面

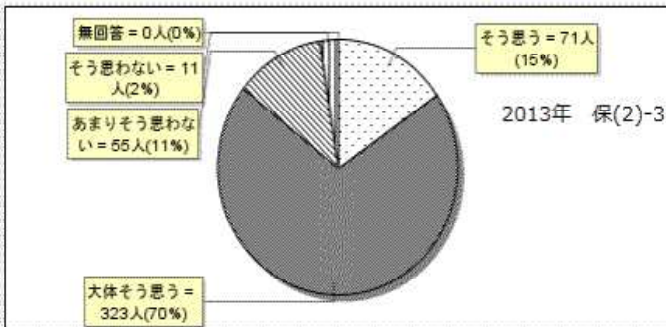
1. 登下校や校内で見る生徒は元々よく挨拶ができていましたか。



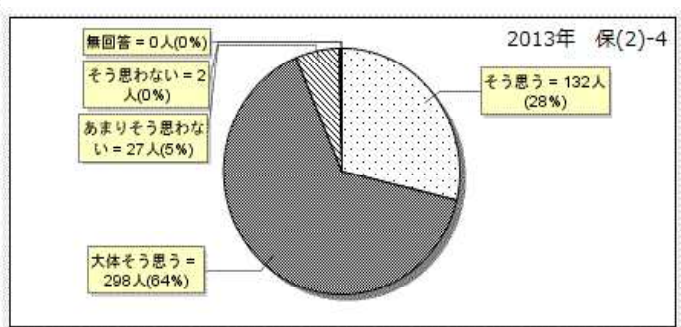
2. 学級では一人一人の居場所が確保する配慮がなされていましたか。(学級組織、係活動、助け合い、認め合い)



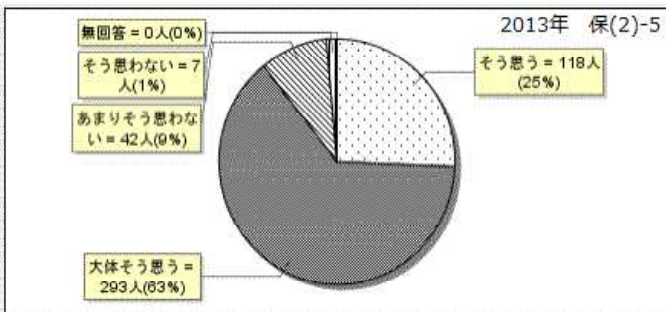
3. 学校はいじめの早期発見、早期対応、防止に努めていましたか。



4. 学校行事は、自ら好ましい人間関係をつくれるように配慮され、目的を持って行われましたか。(宿泊学習、体育祭、合唱コンクール等)



5. 学校、学年、学級によりは年間を通じて、教育方針や生徒の様子、連絡等をわかりやすく伝えることができたか。

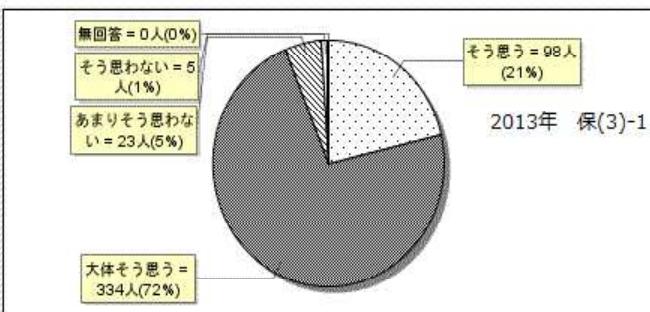


《考察》・・・(2)生活面について

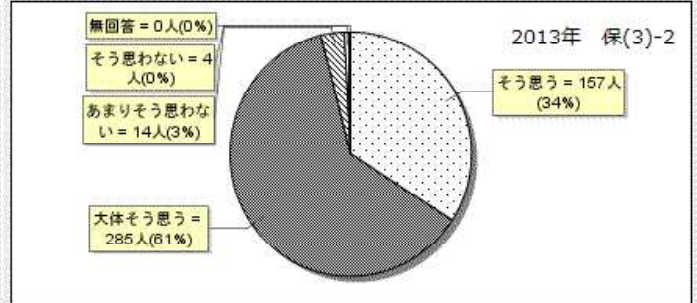
1の「挨拶」については良くなってきているが、「良好」が7割程度なのは生徒の自己評価と隔たりがある。2の「居場所づくり」3「いじめ」に関しては良好な評価が増えた。今後もきめの細やかな対応していきたい。特に「いじめ防止」は家庭との連携が不可欠である。早期発見、早期対応が大切なので、少しでも気になることがあればすぐに学校へ相談して欲しい。4の「学校行事等」では、目標に対して一定の成果がでていると評価する家庭が多い。5の「情報の発信」では、特に今年度はホームページに力を入れた。「じんじん」の登録と併せて、ホームページ閲覧もよろしくお願いしたい。

(3) 環境・安全・危機管理

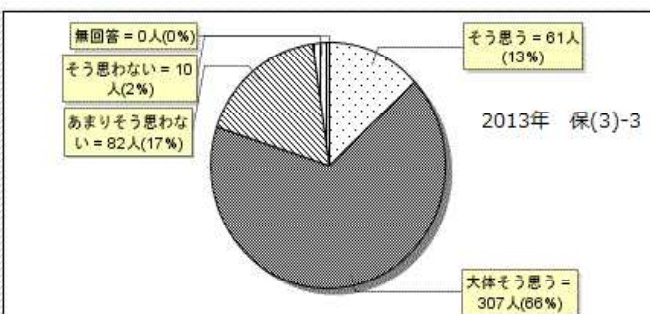
1. 学校施設は学びや生活の場として、適切に安全・衛生等の管理がなされていましたか。



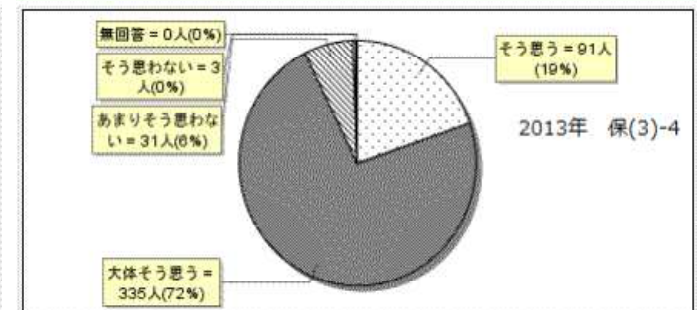
2. 学校は生徒の健康維持、体力増進の為に体育的行事や部活動に積極的に取り組むことができていましたか。



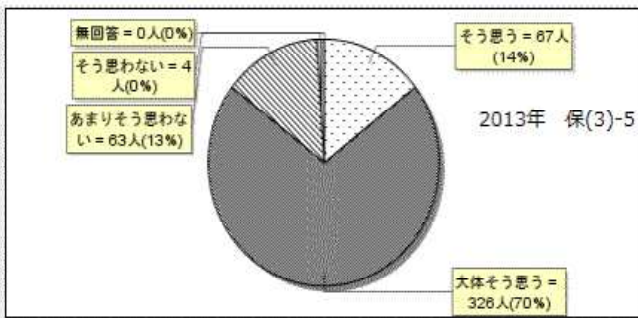
3. 生徒は登下校時のマナー、社会ルールを守っていますか。



4. 学校は防災・防犯対策をしっかり行い危機管理に努めていましたか。



5. わが子は避難訓練や安全指導を通して「自助・共助」の精神が養われていますか。

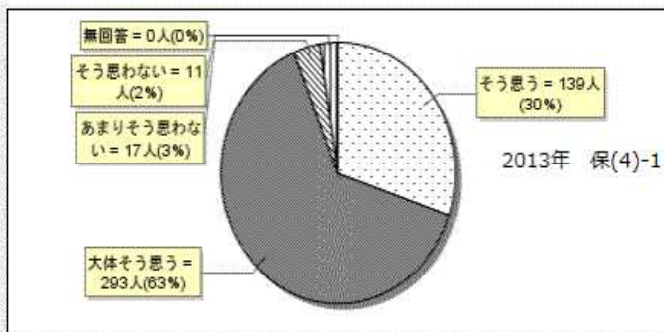


《考察》・・・(3) 環境・安全・危機管理

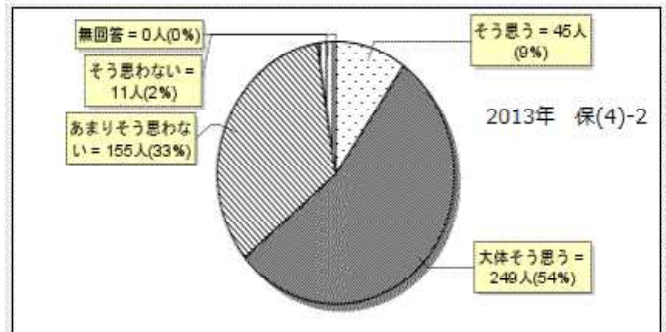
1の「学校施設等の安全」2の「部活動等の取り組み」は、おおむね良好。実際に各大会や行事に一生懸命取り組んでいる生徒が多い。特に今年度は特設駅伝部の飛躍があったことも好評価に繋がっている。3の「登下校のマナー」については、今後も継続指導が必要。4、5の「避難訓練、自助、共助」については、東日本大震災後の防災マニュアルに見直し、改善も終了し、今後も積極的な防災教育の推進が必要である。各家庭でも十分に話し合っておき、いざという時に備えられるようにして欲しい。

(4) 学校運営、地域連携、その他

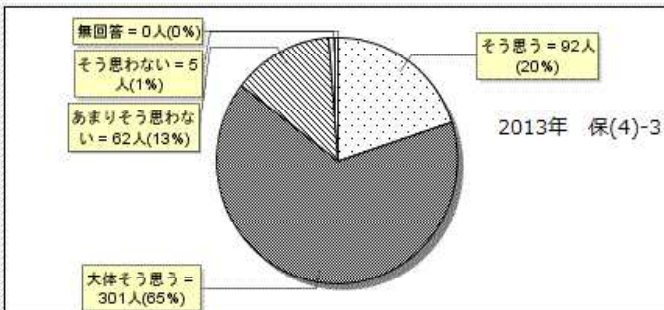
1. 教職員は、保護者や地域からの問い合わせ、来校者に対して誠実な対応をしていましたか。



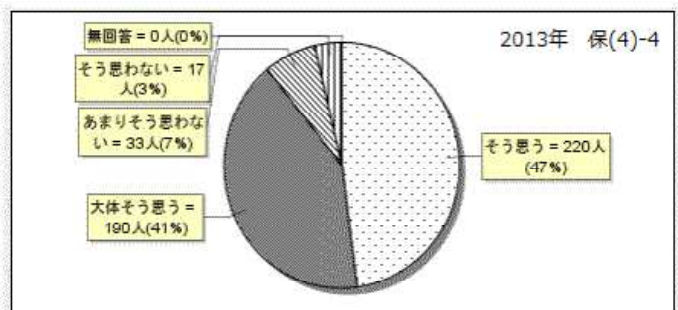
2. 生徒は地域のボランティア活動や行事に積極的に参加し地域に根ざした活動ができていましたか。



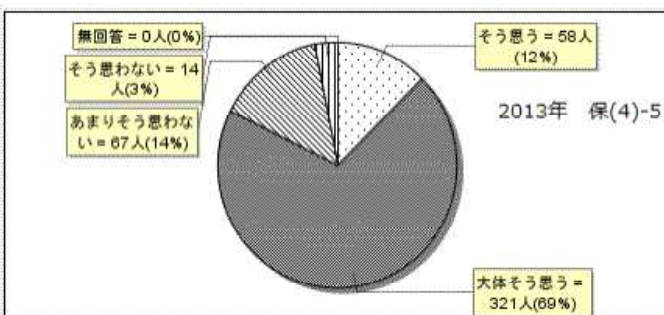
3. 学校は生徒に社会性を育てるために職場体験、総合学習を通じて地域との交流を深めさせることができていましたか。



4. わが子は部活動に参加することをたのしみにしていますか。(3年生はしてましたか。)



5. 学校は教育目標の重点である「情操豊かで品位のある生徒」にさせることができましたか。



《考察》・・・(4) 学校運営、地域連携、その他 1～5

1の「問い合わせ」については昨年度同様良好な評価で、今後も丁寧な対応を心がけたい。2の「ボランティア」について評価が低いのが昨年からの課題であり、日頃お世話になっている「地域」に還元ができるようなボランティアを生徒会などを通して考えていきたい。3の「職場体験や総合学習」では積極的な地域との交流を評価している家庭が多いが、久寺家学習の意義など考えると評価はもう少し上がってもよいであろう。4の「部活動」についてはおおむね良好な評価が多い。5の「品位」については各家庭にも、本校の目指す生徒像が浸透してきているように思われる。全体を通して、各家庭の評価は「落ち着いた学校」のである。学力の向上やいじめ問題、防災、安全については日々点検や修正・改善を心がけ、楽しく安心で安全な学校づくりに心がけたい。そして来年度も久寺家中生徒の実態に合せた、久寺家中の教育をこの評価をもとに進めていきたい。